

デザイン仕様書

■内容

世界に届け！使い続けたいデザイン桐箱

■基本コンセプト

- 一目見て思わず手にとりたくなるデザインの桐箱
 - ▶ インテリアに興味があり、桐箱に馴染が無い20・30代の方が目を惹くデザイン
 - ▶ 自宅やオフィスに置きたくなる、オシャレに飾りたくなる、ワクワクを感じるデザイン 等
- 友人、知人に見せたい、自慢したい桐箱
- 大・中・小3パターンのサイズ展開によるバリエーション

前提

- 商品パッケージ用の従来デザインの桐箱は購入後または贈答用として受け取った後に捨てられる傾向がある。桐箱を長く使うためには、一目見て手に取りたくなるようなデザインを桐箱に加え、桐箱に馴染みがない世代からも認知され、利用しやすくなる仕掛けが必要と考えている
- そこで本事業では一般消費者向けのデザイン性の高い収納用の桐箱開発を行うことを目的とする
- また、数ある木材の中で桐の持つ特性(*)が保管に最適という理由で、桐箱は室町時代より重宝されてきた経緯があるため、その機能美を収納に活かしたい



室町時代から使われている伝統的な桐箱



商品パッケージ用の桐箱



現状の店頭販売用の桐箱
(デザイン性に乏しい)

(*) 桐の特性: 調湿性、防虫性、軽さ、耐火性、狂いが少ない

■具体的な仕様

【基本仕様】

- 基本的な形状は直方体か立方体
 - 各面は正方形または長方形（台形、平行四辺形、曲面は不可）
- 大・中・小の3サイズのバリエーション
 - 大・中・小それぞれのサイズの寸法（縦・横・高さ）を設計
 - 各サイズにおいて、その形状は相似形であっても、そうでなくても良い
 - また外観デザインは、各サイズで統一させるか、または複数個（大・中・小）並べた時に一層オシャレに見えるような互換性を持たせても良い
- 箱のはめ合いの形状は「インロー」
 - インローはスタンダードな桐箱の仕様で、数ある仕様の中で最も気密性が高く、桐の特性を最大限に活かすことができる
 - 量産性が高く、デザイン加工も行いやすい

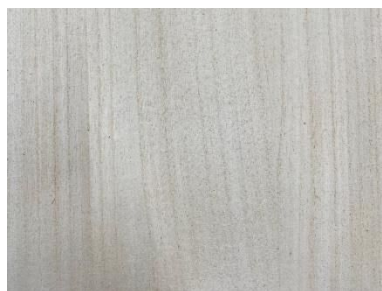


インロー（フタ閉めているとき）



インロー（フタあけた時）

- 商品の素材は桐の集成材(※)のみ
 - 異素材との組み合わせは不可
 - 厚みは、基本的に箱の耐久性や反りなどを考慮して当社で調整
 - 通常は4.5~13mmを使用（部位によって異なる）
 - もしデザイン上、形状バランスを考慮した厚み指定があれば伺いたい



桐の集成材

【外観デザイン】

□ 加飾方法

● レーザー加工（カット、彫刻）による加飾

➤ レーザーカットは必須で取り入れる（ワンポイント可）

➤ レーザー彫刻のみは不可。レーザーカットとの組み合わせは可



フタ表レーザーカット



側面レーザーカット



フタ裏レーザーカット



レーザー彫刻

➤ レーザーカットした面は、次の写真のように2層構造にして気密性を確保する



2層構造（フタ断面）

- 印刷等による加飾も可

- レーザー加工と別途、シルク印刷、箔押印刷、焼印刷、UV印刷（多色刷り）などの印刷の組み合わせは自由に設計可（塗装不可）



シルク印刷



箔押印刷

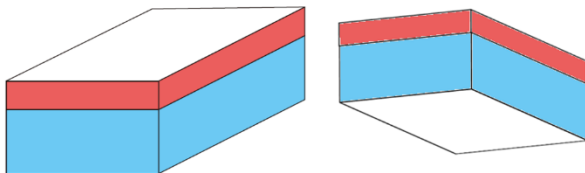


焼印刷



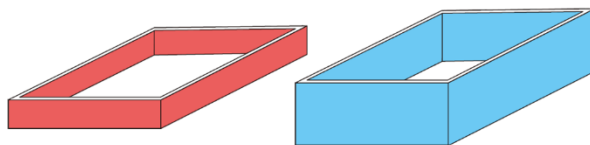
UV印刷

- レーザー加工と各種印刷の範囲は以下のとおり



- 全ての加工・印刷：可能
- 全ての加工・印刷：不可
- レーザーカット・シルク印刷：可能

(注)ただし、断面は加飾の対象外



- 表面仕上げ方法
- 面取りや切込みは可
 - 以下は加工例



丸い面取り



シャープ面取り



切込み

- 塗装は原則無塗装

【価格設定】

- 2,000～3,000 円／個程度
 - 量産可能な価格に設定
 - サイズによる価格差あり。最終価格はサイズやデザインによって決定

【(参考) 利用 (収納、レイアウト) イメージ】



■ターゲット・販売戦略

【ターゲット】

- インテリアに興味があり、桐箱に馴染みが無い20・30代
- 大切なものを品質の良い状態で収納したい方
- 家庭やオフィスで物をオシャレに収納したい方

【販売先】

- 小売店、ホテル、オンラインショップ
 - 全国の日用雑貨の小売店へ提案
 - ECモールや自社オンラインショップ
 - 全国の既存取引のあるホテルへ収納箱（アメニティボックス）として提案
- 展示会に出展
 - 東京ギフトショーなど定期的に出展している展示会で新作として案内し、新規拡大を図る。取引のある小売店のバイヤーにも周知する

■デザインに対する考え方とデザイン事業者への要望

・当社の年間約 120 万個の生産力（桐箱業界では全国でも有数の生産力）を活かし、世界中の多くの人へ届けるデザイン桐箱を、デザイナーと共に開発したい

・桐箱に馴染みがない20・30代でも一目みて欲しくなるようなデザイン性を加えていただきたい

・桐の特性を活かした場面を想定し、現代のライフスタイルに合わせ、多用途に利用できるサイズ設計を行っていただきたい

・フタを開けた時のワクワク感を演出していただきたい

・将来的には企業向け(B to B)の商品パッケージの桐箱についても、本事業で学んだことを活かして、消費者が二次利用をしたくなるようなパッケージ提案を企業に行っていきたい

・本事業を通じて桐箱の魅力を再定義し、桐箱が10年、20年後も大切な役割になるようなきっかけとしたい

■実施スケジュール（予定）

2024年9月下旬：デザイン事業者決定、顔合わせ

※顔合わせ以後、月に1回程度の定期的な打ち合わせを行う予定

2024年10月～11月：デザイン決定

2024年12月～2025年1月：一次試作、評価

2025年1月～2月：必要に応じてブラッシュアップ、二次試作、評価

2025年2月下旬：最終デザイン決定

2025年3月：最終試作

2025年4月：既存小売店へ提案開始

2025年5月：オンラインショップに掲載開始

2025年5月：福岡デザインアワードにエントリー

2025年5月：高岡クラフトコンペにエントリー

2025年9月：東京ギフトショーに出展

■プロジェクト参画企業等

企業名：株式会社増田桐箱店

主な商品：桐箱、桐製品

参考URL：<https://kiribako.jp/>

■語句説明（必要なら記載）

※集成材・・・一定のサイズに切った木材を接着剤で横に貼り合わせて1枚の板にした材料のこと